

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日
平成 24 年 4 月 16 日

事務事業名		北学校給食センター運営事業		区分		事務事業No.	30113201
				<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業		課内No.	1
政策体系上の位置付け		政策体系上の位置付け		<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		事務事業主管課	
政策体系	総合計画の施策名	301 学校教育の充実		<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		所属部	教育委員会
	政策名	3 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				所属課	北学校給食センター 32
	施策名	1 学校教育の充実				課長名	穂山 壽一
	基本事業名	1 安心安全な教育環境づくり				グループ	北学校給食センター
財務会計上の位置付け		財務会計上の位置付け		事業期間		担当者名	田山 嘉彦
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計	
	1	10	1	4	2	北学校給食センター事業	
法令根拠							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (年度～) 年度～ <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～) 年度～ 年度

【Do】 1. 事務事業の現状把握

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
 ・給食センターの運営に関して必要な事項を審議し、[学校給食衛生管理の基準]に添って園児・児童・生徒の心身の健全な発達の為のバランスの取れた食事や、安全・安心な給食の提供を図れるように円滑に行っている事業です。
 ・現在岩瀬地区の小中学校幼稚園(幼稚園1園・小学校5校・中学校2校)へ給食の提供をしています。
 【担当者が行う業務の手順】
 ・メニューの検討、給食回数・199回、給食調理員(臨時含む)13名 栄養士(県職)3名で調理をしています。
 ・運営協議会の開催・調理従事者の研修及栄養士との打ち合わせをしています。
 【事業費の内訳】
 ・一般職非常勤職員報酬・旅費、臨時職員賃金、報償費、消耗品費、燃料費、光熱水費、役務費(通信運搬費)、調理器具研磨料、はかり検査手数料、各種検査手数料、各種清掃手数料、細菌検査委託料、食材検査委託料、給食配送委託料、使用料及び賃借料、原材料費

(1) 事務事業の目的

①手段(23年度 実際に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会の開催した。 ・調理従事者の研修及栄養士との打ち合わせをした。 ・安全・安心な給食の提供をした。 	ア 小中学校数	校
	イ 小中学校給食提供日数	日
	ウ	
	エ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
<ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬地区の幼小中学校の園児児童生徒、教職員等を対象とした。 	ア 児童生徒教職員数	人
	イ	
	ウ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心かつ栄養のバランスのとれた給食が食べられるようにした。 	ア 食中毒件数	回
	イ	
	ウ	
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
<ul style="list-style-type: none"> ・学力・心・体の調和の取れた人材に育つようにした。 	ア 小学校体力テスト結果(県平均との比較)	%
	イ 中学校体力テスト結果(県平均との比較)	%
	ウ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(計画)	(目標)
⑤活動指標	ア 校	8	8	8	8	8		
	イ 日	198	196	190	199	198		
	ウ							
	エ							
⑥対象指標	ア 人	2,178	2,096	2,036	1,968	1898		
	イ							
	ウ							
⑦成果指標	ア 回	0	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
⑧上位成果指標	ア %	6.06	0.80	22.10	27.90			
	イ %	8.31	2.42	22.00	39.60			

③ 投入量(事業費)の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	28年度	期間限定 総投入量
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	使用料・手数料	千円							
	その他	千円	96,619	91,519	88,801	87,948	85,443		
	一般財源	千円	26,063	25,381	25,847	28,741	30,858		
	事業費計(A)	千円	122,682	116,900	114,648	116,689	116,301	0	
人件費	正規職員従事人数	人	16	16	16	16	15	0	
	延べ業務時間	時間			8,512	8,112	8,112		
	人件費計(B)	千円	0	0	25,881	24,664	24,664		0
トータルコスト(A)+(B)		千円	122,682	116,900	140,529	141,353	140,965	0	0

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

・給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため桜川市学校給食センター条例に基づき、学校給食運営委員会が設置され、常に良好な状態において給食センターを管理していくため。
 ・「学校給食衛生管理の基準」が施行されたが、食品の安全性に対する関心が高まり・食の乱れにより、社会問題となっている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・学校給食は、桜川市の未来を担う子どもたちの健全育成に大いに役立つので、これからも安心安全な給食の提供を期待しています。

事務事業名	北学校給食センター運営事業	事務事業No.	30113201	所属課	北学校給食センター
-------	---------------	---------	----------	-----	-----------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ・学校給食は学校教育活動の一環であり、市の政策に結びつく。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？） ・桜川市未来プロジェクト・明日を支える人づくりプロジェクトで「食育普及事業」は重点事業とされているので公共関与は妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性（対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？） ・対象は市内の小中学校であり、栄養バランスのとれた給食を提供することは妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有 効 性	④ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ・給食の残量数は徐々に減少しているが、指導の方法等の改善によりもう少し向上の余地はある。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ・男女共同参画社会の現在、多くの保護者にとって給食の存在は家庭と仕事の両立の助けとなっているので、廃止・休止はできない。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効 率 性	⑦ 事業費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）） ・品質や衛生面を確保した安全・安心な給食づくりには、現状では削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地（やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？） ・調理・洗浄業務等の民間委託によって、削減の余地があるが、現在の施設では民間委託は不可能である。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公 平 性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ・担当区の幼小中学校はすべて提供している。食材については、受益者負担である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・学校給食センター条例や学校給食衛生管理の基準などの規則に添って行っている事業なので現状維持が望ましい。																			
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○	×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		○	×																	
低下		×	×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続（現状維持） C: 終了、廃止、休止 B: 継続（改革改善を行う） D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項